

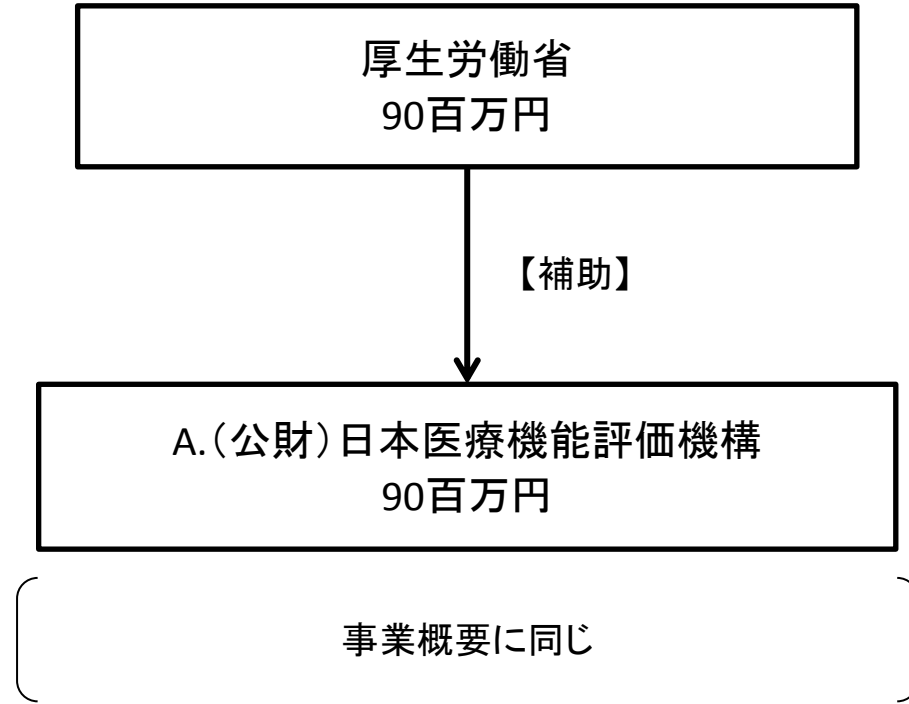
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療事故情報収集等事業		担当部局庁	医政局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～		担当課室	総務課 医療安全推進室		室長:大坪寛子			
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-3-2 医療安全確保対策の推進を図ること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	厚生労働省発医政0331第31号「医療施設運営費等補助金及び中毒情報基盤整備事業費補助金の国庫補助について」					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療事故の発生予防・再発防止のためには、医療機関の報告に加え、医療関係団体等、医療安全に資する情報を収集し、これらを総合的に分析・検討した上で、その結果を広く提供する必要があることから、中立な第三者機関において医療機関自らが分析・検討をした情報を収集し、さらに分析を加えたうえで情報提供を行うとともに、医療機関からの相談に応じて必要な助言・支援を行うこと								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	運営委員会、専門家部門、検討委員会、事務局を設置し、医療事故情報の収集・分析・提供を行う。具体的には下記のとおり。 ・医療機関における医療事故情報の収集・分析・提供 ・医療機関におけるヒヤリ・ハット事例情報の収集・分析提供 ・医療機関に対する助言・支援 ・医療安全に関する研修及び専門家の養成、医療機関における「医療安全緊急情報」の発信、本事業に関する普及啓発								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	98	88	90	90	82		
		補正予算							
		繰越し等							
	計		98	88	90	90	82		
	執行額		98	88	90				
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	医療事故情報収集等事業報告書の作成 医療事故情報収集等事業年報の作成 医療安全情報の発信			成果実績	報告書の作成等	報告書の作成等	報告書の作成等	-	
				達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	報告義務対象医療機関及び参加登録申請医療機関からの医療事故事案の報告件数			活動実績 (当初見込み)	件	2,703	2,799 (2,703)	2,882 (2,799)	- (2,882)
				算出根拠			90,186千円÷報告件数2,882件		
単位当たりコスト	31,293 (円/件)								
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金	90	82	謝金・旅費の減					
	計	90	82						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	収集した医療事故情報を広く社会に向けて公表し、事故の発生予防、再発防止を図るものであり、広く国民のニーズがある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療安全を推進するため、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	医療事故の再発防止を目的として、医療法施行規則で定められた事業であり、優先度の高い事業である		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者は個々の医療機関であり、受益者に負担を求めることは難しく、全額補助事業であることはやむを得ない。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	運営団体の最低限の経費のみ計上されており、妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	中間段階での支出は合理的なものである。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に照らして真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みを上回って推移している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	各種成果物は、医療機関等で広く活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	調査対象が異なっており、適切な役割分担がなされている。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業	厚生労働省医薬食品局			
点検結果	-		-	-		
	<p>当該事業は、医療事故の発生予防及び再発防止を促進することを目的として、医療事故情報及びヒヤリ・ハット事例情報の収集・分析・提供を行っている。分析結果は報告書、年報及び医療事故情報としてとりまとめ、広く社会に向けて公表している。</p> <p>平成24年12月31日における医療事故情報の参加登録申請医療機関数は653施設であり、前年の同時期と比べ、44施設増加している。また平成24年(1月～12月)の医療事故の報告件数は、2,882件(報告義務対象医療機関273施設分を含む。)と前年に比べ、83件増加している。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の見直し	医療事故情報収集等事業については、コスト削減による見直しの観点から、人件費のコストを削減すべき。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	医療事故情報収集等事業については、予算の効率的な執行を図るように努め、平成26年度概算要求において縮減を図った(△8百万)					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	109	平成23年	0090	平成24年	068

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位：百万円)

A.公益財団法人 日本医療機能評価機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
給与費	医師、看護師等従事職員の給与	34			
雑役務費	派遣職員、システム保守、報告書作成ほか	25			
通信運搬費	回線使用料、報告書発送ほか	9			
印刷製本費	報告書印刷ほか	6			
賃借料	事務所借料、機器等借料ほか	6			
諸謝金	専門部会出席委員への支払ほか	5			
その他	旅費、消耗品費ほか	4			
計		90	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人 日本医療機能評価機構	事業概要に同じ	90		